

令和5年度～令和6年度

湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会

答申書

諮問事項

湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進条例（平成 29 年湯沢市条例第1号）第 12 条第2項の規定に基づき、若者や女性の活躍推進に関する施策等について、貴協議会の意見を求めます。



令和5年10月17日開催 第6回推進協議会



令和6年11月26日開催 第6回推進協議会

●湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会について

平成 29 年 3 月に若者や女性のまちづくりへの参画機会を積極的に確保することを目的に、湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進条例が制定されました。

同条例第 12 条において、若者や女性の活躍推進に資するため、湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会（以下、推進協議会という）を置くとされ、推進協議会は、市長の諮問に応じ、若者や女性の活躍推進に関する重要事項について調査し、及び協議し、また、市が実施する若者や女性の活躍推進に関する施策の実施状況について必要に応じ調査し、必要と認める事項について市長に意見を述べるものと定められています。

令和 5 年度～令和 6 年度の委員は計 16 名で組織され、推進協議会では、未来の湯沢市の姿を思い描きながら、「若者や女性が活躍する“ゆざわ”」であるために、市として取り組むべき事項を提案することを目的として会議を開催し、各委員が議論した結果を答申書として取りまとめました。

●推進協議会委員名簿

委員の選出に当たっては、公募 2 名、市長が特に必要と認める者 2 名のほか、女性団体から 3 名、若者団体から 3 名、関係機関から 4 名、市内高校から 2 名が推薦されました。

任期：令和 5 年 5 月 25 日～令和 7 年 3 月 31 日

役 職	氏 名	所 属	備考
会長	小野塚 真美	公募	女性
副会長	菅 善徳	あきた F・F 推進員	男性
委員	伊藤 圭	公募	女性/若者
//	佐藤 雅俊	一般社団法人湯沢青年会議所	男性/若者
//	松倉 みほ子	湯沢商工会議所青年部	女性/若者
//	阿部 俊介	ゆざわ小町商工会青年部	男性/若者
//	安倍 直見	秋田県雄勝地域振興局	女性
//	古関 雄大	ゆざわりビングラボサポートオフィス	男性/若者
//	伊藤 太志	北都銀行湯沢支店 明日の湯沢を考える会	男性/若者
//	佐藤 拓弥	いんない未来塾	男性/若者
//	大野 理智子	小安峡温泉 きらめき女子会	女性
//	見田 美紀	ひよこサークル	女性/若者
//	大日向 陽子	秋田県醗酵工業株式会社 A-ribbon	女性
//	佐々木 美空	秋田県立湯沢高等学校 ※令和 5 年度	女性/若者
//	小松 峻大	秋田県立湯沢高等学校 ※令和 6 年度	女性/若者
//	鈴木 伽衣	秋田県立湯沢翔北高等学校 ※令和 5 年度	女性/若者
//	福田 宇瑠	秋田県立湯沢翔北高等学校 ※令和 6 年度	女性/若者
//	加藤 和加奈	集落支援員	女性/若者

湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会の取組

●令和5年度の開催状況

■第1回推進協議会(令和5年5月25日)	
時 間	17時30分から19時まで
会 場	湯沢市役所本庁舎会議室21・22
出席者	出席委員15名 市長ほか事務局6名
テーマ	市が実施する若者や女性の活躍推進に関する施策・事業の実施状況の確認
■第2回推進協議会(令和5年6月21日)	
時 間	17時30分から19時30分まで
会 場	湯沢市役所本庁舎会議室21・22
出席者	出席委員14名 事務局5名
テーマ	市が取り組んでいる若者や女性の活躍推進に関する施策・事業、重要業績評価指標(KPI)の設定が適切であるか確認
■第3回推進協議会(令和5年7月8日)	
時 間	13時から16時まで
会 場	湯沢市役所本庁舎市民ロビー
出席者	出席委員11名 事務局2名
テーマ	「若者や女性が活躍する湯沢市」を思い描き、どうしたら思い描いた姿を実現できるのか話し合う(課題の設定・アイデア出し)パート1 ※議会フォーラム2023への参加
■第4回推進協議会(令和5年9月7日)	
時 間	18時から20時15分まで
会 場	湯沢市役所本庁舎会議室21・22
出席者	出席委員13名 事務局5名
テーマ	「若者や女性が活躍する湯沢市」を思い描き、どうしたら思い描いた姿を実現できるのか話し合う(課題の設定・アイデア出し)パート2
■第5回推進協議会(令和5年9月28日)	
時 間	18時から20時15分まで
会 場	湯沢市役所本庁舎会議室21・22
出席者	出席委員14名 事務局5名
テーマ	「若者や女性が活躍する湯沢市」であるために、市として取り組むべき事業を提案(アイデアの絞り込み)パート1
■第6回推進協議会(令和5年10月17日)	
時 間	18時から20時15分まで
会 場	湯沢市役所本庁舎会議室21・22
出席者	出席委員13名 事務局5名
テーマ	「若者や女性が活躍する湯沢市」であるために、市として取り組むべき事業を提案(アイデアの絞り込み)パート2
■第7回推進協議会(令和6年1月26日)	
時 間	15時30分から17時15分まで
会 場	湯沢市役所本庁舎会議室43・44
出席者	出席委員5名 事務局5名
テーマ	研修「これからの時代に求められる住民と行政の役割について」

●令和6年度の開催状況

■第1回推進協議会(令和6年6月27日)		
時 間	17時30分から19時まで	
会 場	湯沢市役所本庁舎会議室23・24	
出席者	出席委員14名 事務局5名	
テーマ	令和6年度の協議テーマに関連した講演「若者や女性が輝く社会とは～協議会のミッションと意識合わせ～」	
■第2回推進協議会(令和6年7月6日))		
時 間	10時から正午、15時30分から17時30分まで	
会 場	雄勝文化会館、皆瀬生涯学習センター	
出席者	出席委員各会場2名 事務局各1名	
テーマ	議会フォーラム2024への参加	
■第3回推進協議会(令和6年8月23日)		
時 間	18時から20時まで	
会 場	湯沢市役所本庁舎4階 会議室41	
出席者	出席委員6名 事務局1名	
テーマ	湯沢市議会教育民生常任委員会より依頼のあった「出張!!なんでも意見交換会」における意見交換	
■第4回推進協議会(令和6年9月17日)		
時 間	18時から20時まで	
会 場	湯沢市役所本庁舎会議室21・22	
出席者	出席委員10名 事務局5名	
テーマ	第3期湯沢市総合戦略策定「未来を創る『若者』を応援するまちづくり」に向けて意見を出し合うワークショップ	
■第5回推進協議会(令和6年10月30日)		
時 間	18時から20時まで	
会 場	湯沢市役所本庁舎1階市民ロビー	
出席者	出席委員10名 事務局5名	
テーマ	第3期湯沢市総合戦略策定「みんなの『幸せ』に寄り添うまちづくり」に向けて意見を出し合うワークショップパート2	
■第6回推進協議会(令和6年11月26日)		
時 間	18時から20時まで	
会 場	湯沢市役所本庁舎会議室21・22	
出席者	出席委員11名 事務局5名	
テーマ	第3期湯沢市総合戦略などに対する意見集約	

●令和5年度の取組

事業提案すべく議論し、6つの事業について提案した。（令和5年度提案済）

1）地域の「つながり」を再構築する地域経営組織育成モデル事業

①目的

人口が減少する中であっても市民がみんな「幸福感」を持って暮らすため、世代や地域のくくりを超えた「つながり」を再構築し、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを目指す。

②目標

- （短期）地域経営組織モデル地区2箇所設定
- （中期）地区組織23団体を組織化
- （長期）全23組織を傘下に置く法人団体「犬っこゆざわホールディングス」設立

③事業の概要

- ・市民の困りごとや人手不足など、多岐にわたる地域課題に対し、市民の要請に応じて人材を派遣する会社（地域経営組織）をモデル地区2箇所に設立する。
- ・地域自治組織から地域経営組織への転換によって組織を再構築するとともに、自律的な経営をするための基盤を整える。（特定地域づくり事業協同組合制度の活用による財政支援）
- ・地域経営組織を立ち上げるための人材育成やマネジメントなど、組織体制の強化に向けた支援を行う。

2）湯沢市地産地消推進条例制定事業

①目的

地場産業の振興と雇用の維持を図るとともに、地域経済の活性化により稼げるまちづくりを目指す。

②目標

- （短期）湯沢市地産地消推進条例を制定
- （中期）冠婚葬祭の返礼品に地元の品を選ぶ割合 50%
- （長期）新たな特産品を取り扱う新会社の設立／新たな産業の創出

③事業の概要

- ・地産地消推進条例を制定して積極的にアピールすることにより、市民が市産品等の歴史、文化、魅力に誇りと愛着を持ってもらい、冠婚葬祭の返

礼品として市民が市産品を選ぶように意識付けする。（強制はされないため、理念条例として制定）

3) 未来住宅づくりプロジェクト事業

①目的

若者や子育て世帯、移住者のための魅力的な宅地や住宅（古民家）を作り、定住者を増やす。

②目標

市が管理している魅力的な土地・家を1年間で最低30件登録
（近隣市への転出者20代～30代20世帯＋移住者10世帯）

③事業概要

- ・市が選定するエリア（小学校や施設が近いなど）の土地を市が取得し、若者や子育て世帯、移住者を優先的に売却。同エリアに空き家がある場合解体費を助成。
- ・空き家や古民家を活用して住宅をリフォームし、低価格での賃貸、お試し滞在住宅として活用。（賃貸開始後の経過年数に応じて借主へ譲渡）

4) 若者がつくる魅力発信コンテスト事業

①目的

若者に効果的な情報発信をすることで若者が市の魅力を再認識し、郷土愛を醸成する。

②目標

年に1回若者による若者視点の魅力発信動画コンテストを実施し、入賞3作品を市のプロモーション動画として追加する。

③事業の概要

- ・若者を対象とした市のPR動画を募集するコンテストを行い、優秀な作品を表彰する。（例：賞金100万円など）
- ・市民も投票できる仕組み（いいね！の数で決めるなど）を作り、湯沢市内部からも外部からも評価できるようにする。
- ・入賞作品は市のプロモーション動画として使用し、市公式YouTubeなどに投稿する。TikTokやInstagramなど、多くの若者が利用するSNS広告などにも活用する。

5) 地域住民の交流の場づくり事業

①目的

地域住民が気軽に立ち寄れる交流の場や学生等の居場所づくりを行い、地

域住民同士のつながりや交流を活性化させ、郷土愛の醸成とにぎわい創出を図る。

②目標

交流の場となるスペースを全ての地区センターに整備する。

③事業の概要

- ・学生が市役所以外の公共施設でも勉強できるように、学習スペースを設置する。
- ・地域住民が歓談できるスペースを設置する。
- ・音楽のまちをアピールするため、誰でも気軽に音楽に触れることができるように楽器（ピアノやギターなど）を設置する。
- ・若者男女がゲームを通じて交流を深められるように e スポーツルームを設置する。

6) 婚活サービス料補助事業

①目的

結婚に前向きに取り組む者に対する結婚支援の強化を図ることで婚姻数の増加を図り、少子化の改善を目指す。

②目標

民間の結婚相談所や婚活サイトなどの婚活サービスを利用して婚姻した後、湯沢市に住所を有して居住するカップル 年間5組

③事業の概要

- ・婚活サービスを利用して婚姻した後、湯沢市に住所を有して居住しているカップルで、婚姻に至るまでに結婚相談所等への婚活サービスでかかった費用（結婚相談所等への入会金・登録料・年会費・婚活イベント参加料など）の合計額の2分の1を補助（上限20万円）する。

※令和6年度より「婚活サポート補助金」として事業実施。

- ・事業内容は次項参照。



湯沢市 婚活サポート 補助金



結婚して湯沢市に住み続けたい！
と思っている方に、婚活のために結婚相談所
に入会して活動する費用の一部を補助します

補助の対象となる経費は？

○初期費用（結婚相談所の入会に要する費用）

- ・補助金の額 初期費用（入会金・登録料等）として、補助金を申請する年度に支払った経費の2分の1（100円未満切り捨て）又は5万円のいずれか低い額

※入会金や登録料等が1年ごとに必要な場合は初回のみ対象となります。

○会費（結婚相談所に年間を通じて支払う会費）

- ・補助金の額 会費として、令和6年4月1日から結婚までの間に支払った経費の2分の1（100円未満切り捨て）又は10万円のいずれか低い額

※会費の補助について、結婚に至らなかった場合は対象となりません。

※申請日において湯沢市内に住所を有していない場合は対象となりません。

婚活サポート補助金の詳細については裏面をご覧ください。

あなたの
婚活応援
します！



ゆざわ婚活応援団
佐藤 一夫 団長



湯沢市

担当窓口

ふるさと未来創造部 まちづくり協働課
未来づくり推進班（湯沢市役所本庁舎3階）

お問い合わせ

0183-56-8386
mirai-gr@city.yuzawa.lg.jp

湯沢市
HP



●令和6年度の取組

「第3期湯沢市総合戦略」に対する推しアイデアを提案するとともに、アイデアを集約することで新たな事業を提案する。

1) 提案された推しアイデア（企画課提案済み）

(1) 「未来を創る『若者』を応援するまちづくり」

推しアイデア	理由
サンロード等の空き店舗を市役所が借りて、借りたい人に安く貸し出す。そして登記できるシェアオフィスを作って、使ってもらえるようにする。	借主が市役所になることで貸主が安心して貸せる。1つの物件を曜日別などで複数の貸主にシェアするなどができる。スタートアップが利用しやすい。店を出しやすい。サンロードに新しい店ができてにぎわいが創出される。首都圏の法人や事業主がシェアオフィスに登録することで、法人税などが湯沢市に入る。
何でも試せるまち	何もしていないのだから、何でも試せる。他ではやれないことをして魅力度アップ。
ラーメンフェスティバルの開催	湯沢の食をアピールする一つ的手段としてラーメンフェスティバルを開催し、周りの人に周知してもらうため。湯沢の良さを確認しあう時間が必要（地元の強みを再確認）他県との差別化を図る。
食の祭典を年数回開催し、湯沢市に人を呼び込む	ラーメン、お酒、さくらんぼ等、湯沢の名物のアピールができる。
メディカルタワーのようないろいろな医療機関が入った建物の建設	移動等の面倒がなくなる。一つにまとまっている方がお年寄りにも優しいため。
音楽フェス、コスプレフェス、食フェス等の開催	関係人口や出会いの場として必要ではないか。同じ興味を持つ人たちに集う場を提供することでにぎわいが創出される。
コスプレ、うどん、ラーメンフェスティバル開催	コアなファンの流入で関係人口が増える。
・オーガニックビレッジ宣言 ・食、音楽、コスプレのフェスティバル開催	とがった政策を実施しない限り、他の市町村との区別や差別ができない
子育て支援をもっと充実させ、遊べる場所を増やす	子どもが遊べる場所がないなどの理由から、市外や県外に出向くことが多いため
サンロードの空き物件を貸出する	翔北高校でも、チャレンジショップを行うなど、サンロードに活気をつくる活動をしている。一時的な効果になってしまっても、そのような活動をしたという経験があることで、将来も湯沢の未来を考えた活動をしたいと思うきっかけになると感じたため。高校生が湯沢市と関わるきっかけが増えればいいと思った。
世界のテクノロジーを実証実験できるまち（ドローン、空飛ぶ車、無人店など）	人が少ないからこそチャレンジできるフィールドを提供できる。
リトリートのまちゆざわ	都会で疲れた人たちが人の優しさや自然に触れて人間らしさを取り戻すポテンシャルが湯沢市にはあると思っている。
何でも試せるまちゆざわ	人口が少ないので、クレームが少ないことが売りにできる。

(2)「みんなの『幸せ』に寄り添うまちづくり」

推しアイデア	理由
ジェンダーギャップの解消に取り組む	男・女にとらわれず(男はこれ、女はこれと分ける事をしない)お互いを尊重することが家庭生活の幸せにつながる。 地域内でもジェンダーギャップの解消に取り組むことで男女差別がなくなり、担い手が減少していく町内会に女性が参画することで活性化の一助につながるのではないかな。
不便(湯沢での暮らし)を楽しむ	便利さを追求してもムダ。逆に不便を楽しんで生活する。
不便を楽しむ思想を教育する	便利を追求するのではなく、不便も楽しむことで幸せを感じる。ウェルビーイングシティ(WBC)
働きたい人と働き手が欲しい人をマッチングさせる仕組みづくり	人材不足や働き手不足に対応できる。
何か一つの分野に特化した分野を作ってみる。広く浅くではなく、とりあえず「これだけは他では見られない」といった分野を持つてみる(ポジティブだけではなく、マイナステーマも可)	人口が減少し、現状では難しいと思うが、何かを深くテーマにして展開してほしい。(例:雪に特化、不便など)
働く女性が担っていることが多い子どもの送迎を解消するために、市が送迎予算を用意し、市が委託する事業者に送迎してもらう	共働き世帯への負担が大きく、自分の時間がとれずに疲弊していて、幸せではないと感じる。子どもを育てる世帯へのダイレクトな支援が必要。
定額公共交通	どこで降りても同額という制度にすることで、バスなどを利用する人が増加すると考えられる。また、公共交通を利用する人口が増えることは、交通機関を利用する理由が増えるということであり、バスなどの本数を増やす動機づけにもつながる。
健康寿命を伸ばすための市民イベントを開催する	医師不足という現実の中、多くの人が健康増進できることを考えた方がよいと思ったため。
私立の学校の誘致	人口減少、公共交通の増便、病院の確保、商店街のにぎわいなど、全て解決しそうな予感がするから。
私立学校(廃校リノベーション)設立	子育て世代の移住・定住が見込める。若者が増えることで、施設・サービスの向上が期待できる。専門的な分野の人材を育成することで、人材確保につながる。(専門企業の充実)
他県にはない魅力的な学部を有する大学をつくる(例:農学部、情報学部など)	大学をつくることで、そこに入りたい人を集めることができ、必然的に人口が増加するから。
私立の学校、廃校リノベーション	学校に入学させるために家族で移住し、人口増加につながる。人口が増えるといろいろな企業が増える。交通も良くなる。働き場所も増える。まちの活性化につながる。
大学、私立の小学校などをつくる	交通、経済、病院などの問題が解決しやすい。交通の利便性の向上。商店や飲食店の増加で雇用が増える。人が増えることで病院が増えるなど、いろいろな問題が改善に向かう。
学校設立(小学校や大学)	人が集まり、若者が出ていかない。雇用が生まれる。経済が活性化される。

2) 推しアイデアをもとにした新たな提案

(1) 「未来を創る『若者』を応援するまちづくり」に関する提案

●湯沢にフリースクールを創立

湯沢の伝統文化の継承を図るために、初めにフリースクールを創立し、市民大学のように誰でも学べて体験できる、消えかけている伝統文化の保存に特化するようなカリキュラムを提供する。

- ・農業や発酵を学べるフリースクールがあれば、農業振興にもつながり、農業人口の減少に歯止めをかけられる。
- ・伝統文化を支えている方々の高齢化が進む中、湯沢市の産業を見直すきっかけにつながる。
- ・伝統を学ぶ場所があることは、郷土愛を育むほか、知識や技術を習得する（手に職をつける）ことの継承につながる。
- ・伝統文化を伝えられる人がいるうちに取り組む必要がある。

学校を創立することは、その学校に子供を入学させたいという一心で家族ごと移住することが期待できる。また、学校があれば自然と人は増え、店舗も増えるなど、相乗効果が大いに期待できる。湯沢市の人口減少に関連する問題が一挙に解決できる。

(2) 「みんなの『幸せ』に寄り添うまちづくり」に関する提案

●地域公共交通

- ・待ち時間も楽しめるようにする。一本電車で遅れてもいいじゃないか的な視点で「電車1本乗り過ごしたっていいじゃないプラン」を策定し、駅周辺での待ち時間の過ごし方を提案する。（駅周辺で待てるスポットを作してほしい）
- ・学生等がより利用しやすいように交通手段について市民割がほしい。
- ・病院への定額バス（200 円）の存在が浸透していないので、もっと PR した方がよい。こまちシャトル便も同様。
- ・飲みに行くときの駐車場として、公共施設（市役所）の駐車場を解放してほしい。開放していると宣言してほしい。
- ・相乗り代行（代行の台数少ないため、同方向の人同士が相乗りする方法）ができるようDXを活用して仕組みづくりしてほしい。
- ・高齢者に対するライドシェア的な取組として、「車に同乗して買い物等に行きたい高齢者」と「買い物等の移動先まで同乗させてもいいという方」についてDXを活用してつなげる仕組みづくりを構築してほしい。

●経済・雇用

- ・駅前空き店舗をチャレンジショップとして活用すべく、市の方で借りるまたは民間事業者が入るなど、活用しやすいように市が関わってほしい。
- ・伝統産業が多い地域なので、小学生の時から伝統産業に触れる機会があった方がよい。稲川地域は川連漆器体験を行っているが、他の地域は行っていないので、みんなが体験できる状態を作ってほしい。
- ・一次産業（農業・林業）の担い手について、事業所の経営者が高齢化で減少している。しかも稼げる状態で居なくなるので、農業に携わりたい方を湯沢市外から広く募ってもいいのではないかな。仕組みづくりとPRが必要ではないかな。
- ・伝統産業について、市民でも川連漆器を使ったことがない人もいられるかもしれないので、通年での伝統工芸品の市民割引があると、地元の伝統産業に触れる機会が増えるのではないかな。

●医療・健康

- ・体育施設はたくさんあるが、市民に伝わりきれていないので、気軽に体験できるように、そして利用者が安価で利用できるシステムの構築を望む。
- ・医療のDX化について。今後はさらに移動がネックとなるので、DX化を推進しオンラインで診療できる場所が地区ごとにあれば、暮らしの安心につながるのではないかな。
- ・eスポーツの推進について。子どもの他に高齢者にも推進することで、生きがいを持つことや脳の活性化にもつながる取組となる。
- ・病院、買い物する場所などを中央に集結させて、もっとコンパクトなシティを目指した方がよい。

●ライフスタイル

- ・楽しく自分らしく生きられるまちにするために、自然が豊かなのでもっと活用した方がよい。昔のように川遊びできるスポットがないので、川遊びできる環境を整備してはどうか。
- ・ごはんを食べさせてくれる放課後児童クラブがあればよい。放課後児童クラブと子ども食堂のコラボ（児童クラブでご飯を食べさせる）できれば、親子にとってありがたいことなのではないかな。



湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会 答申書

湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会

令和7年3月